



# サイジャーナル

月刊  
24-3・4  
第402号

日本サイ科学会 平成24年3月1日発行

本部 〒271-0047 千葉県松戸市西馬橋幸町41-506 郵便振替 00100-2-15344 日本サイ科学会  
電話 047-347-3546 FAX 047-330-4091 E-mail office21@psij.mail-box.ne.jp

<b>東 北</b> 〒981-0904 仙台市青葉区 旭ヶ丘1-36-1 アサノビル201号 佐佐木 康 二 ☎(022) 0908-FAX (022) (274) 0097	<b>中 部</b> 〒503-0981 大垣市松町1290 山 田 哲 三 ☎FAX 0584 (91) 1192	<b>北 陸</b> 〒920-0864 金沢市高岡町12-45-1F ホリスティック健康科学研究室内 佐 藤 禎 花 ☎076 (234) 6634	<b>関 西</b> 〒659-0011 芦屋市六麓荘町 (事務局) 9-39 木 村 のり子 ☎FAX 0797 (22) 6425	<b>九 州</b> 〒862-0976 熊本市九品寺 1-9-7 金 子 輝 夫
--	---	---	---	--

## 四月本部例会のお知らせ

### オーブ研究その後

講師 ロン薄葉氏  
川崎利男氏

2006年10月に開催された日本サイ科学会全国大会での「オーブシンポジウム」から5年半が経ちましたが、それ以降も日本の研究者の皆様の精力的なオーブ研究は進められております。

今回はやはり長年オーブ研究を継続されている二人の先生に御講演いただくことになりました。

是非、最近のオーブ研究の進展を皆様も知って頂きたいと思えます。(以下内容)紹介)

日時 平成24年4月14日(土)

午後1時半～5時

会場 北とびあ9階901会議室  
J R京浜東北線王子駅下車  
徒歩2分、ホーム最北端(赤羽寄り)の階段を下り改札口を出て見える高層ビル

会費 会員 二〇〇〇円  
一般 三〇〇〇円  
学生 一〇〇〇円

## 「オーブ現象とこれまでの歩み」

講師 ロン薄葉氏  
(日本サイ科学会評議員)

今回は、オーブ現象研究を手掛けて、約8年経過しました現在、また、オーブシンポジウムに始まりました「宇宙生命研究分科会」における、これまでのオーブ現象報告と研究内容の発表を振り返りまして、お話をしたいと考えています。

「オーブ現象とは、いったい何なのか。これまでの研究内容を振り返りまして、何をどう伝えれば良いのか、常に、考慮してきました。しかし、この「目には見えない現象」について、一般の方々からのご意見および見解をもお聞きして参りましたが、残念なことに、著者の力量不足も一因してか、8年経過しました現在も、これといった内容評価や成果も得られていない、その現況に大きな反省も感じています。

現在も私なりに、このオーブ現象を探求していますが、視野を広

◎事務局からのお知らせと  
お願い

※3月の本部例会はお休みとなります。

※今回同封致しました別紙でもお願い致しましたが、3月で2011年度が終了し、4月から新年度が始まります。日本サイ科学会は会員の皆様のお力で運営されており、世の中が不景気の時期にご負担をかけて申し訳ありませんが、年会費によるご支援をよろしくお願い致します。

### 今月号の記事

- ◎ 四月本部例会のお知らせ
- ◎ 事務局からのお知らせとお願い
- ◎ 第15回宇宙生命研究分科会予告
- ◎ 関西サイ科学会三月例会予告
- ◎ 関西サイ科学会四月例会予告
- ◎ 五月本部例会予告
- ◎ 九月本部例会報告
- ◎ 十一月本部例会報告
- ◎ 第三六二回関西サイ科学会報告
- ◎ 第三六三回関西サイ科学会報告
- ◎ サトルエネルギー学会春の大会
- ◎ 指尖脈波(カオス解析)法によるパワースポットの計測

める意味から、現在は、海外のインターネットを通して、各国の興味と関心を持つ方々との意見交換を通して、このオーブの観想についてお聞きしているところでもあります。

今回は、そうした海外からのオーブ現象評価を交えながら、この現象の意味合い、また、海外ではどう捉えられている現象なのかをお伝えしたいと考えています。

### ●ロン薄葉氏プロフィール

英国政府公認 英国心霊協会 準ヒーラー。日本サイ科学会 評議員。オーブ現象研究者、気エネルギー研究者、気功施術師(覇気導引功修得)

栃木県大田原市生まれ。平成2年までは、大手外食産業の会社にサラリーマンとして勤務、主にフード関係の仕事に従事。突然の天命を授けられて神秘なる意識の覚醒が始まる。以後、精神世界へと導かれ、現在も英国の心霊協会との親睦により、国内でヒーラーとしてヒーリング活動と普及推進に力を注ぐ。現在は、オーブ現象研究を手掛けながら、主に気・生体

エネルギー等の未知エネルギーおよび次元問題を研究探索中。地元活動では、高齢者を中心に健康予防法としての気功指導を実践中。

### 「オーブ観察7年間 その傾向と残された課題」

講師 川崎利男氏  
(川崎オーブ研究所)

#### ◎オーブは霊魂か？

私が初めてオーブを撮影したのは7年前、和光市陸上自衛隊体育館で開催された軍歌祭会場でした。英霊の霊魂かと言う疑問が強く湧いてきました。何とか科学的な解明が出来ないか。それには数多くの標本(オーブ写真)を集めて全体像の傾向をつかむことだ。それと、自宅前の十字路での定点観測です。毎夜8時に東西南北そして天頂と合計約50枚撮影。平均的に5%の確率でオーブを撮影出来るようになりました。

その他、安全指導の各企業の職場で、町内会の盆踊りで、カラオケ会場と、出かけた先で撮影を

しました。その結果オーブは賑やかなところで出現する傾向がある事が再現性を持って確認されました。

#### ◎煙状物質はオーブの母体か？

冬期、定点撮影の際、もやもやとした煙状物質が撮影できる時があります。世間では、これはオーブの母体だと言われていますが、未だ誰もその証拠写真は撮影していないようです。この原稿を書いている2月5日、オーブ誕生の瞬間を撮影できました。当日ご覧頂きご批判を仰ぎたいと思います。

### ●川崎利男氏プロフィール

昭和4年1月生まれ。芝浦高等学校校化学科卒。TDK(株)で研究・製造・安全環境保全を各10年間勤務。定年後、(有)日本VMセンター設立。大小企業の現場安全・VM指導を25年間展開、今日に至る。平成18年4月サイ科学会入会。平成22年7月マジナルサイエンス賞受賞。趣味・家庭菜園。

## 第15回宇宙生命研究分科会

### 第4回ヒポクラテス・シンポジウム

ヒポクラテスは西洋医学の祖。品川の桜を眺めながらの、健康シンポジウム！ 激動の2012年で如何に健康を保つか？ 皆さん、健康第一でいきましょう！

日時 平成24年3月31日(土)  
午後1時～5時30分

会場 品川健康センター会議室  
品川区北品川3・11・22

03・5782・8507

交通 京浜急行新馬場駅徒歩2分

JR京浜東北線大井町駅東口から東急バス渋谷駅行で「新馬場駅前」下車

会費 一般 五〇〇円

会員 一〇〇円(日本サイ科学会・サトルエネルギー学会・太陽の会・国際問題研究会会員・国際ヒーリング看護協会)

※会員以外の方の参加も大歓迎

### 関西日本サイ科学会 三月例会のお知らせ

#### 出口王仁三郎の遺言

講師 桜井喜美夫氏

日時 平成24年3月17日(土)

午後1時半～5時

会場 大阪科学技術センター

六〇五号室

交通 地下鉄四つ橋線本町駅下車

北へ徒歩5分 靱公園内

会費 会員 二〇〇〇円

一般 三〇〇〇円

学生 一〇〇〇円

問合せ0797・22・6425  
関西日本サイ科学会事務局まで

### 関西日本サイ科学会 四月例会のお知らせ

水のはなし ― 活性水・機能水とは、その生体への作用、水のつくことばなど―

講師 久保田昌治氏

日時 平成24年4月21日(土)

午後1時半～5時

会場 大阪科学技術センター

六〇五号室

交通 地下鉄四つ橋線本町駅下車

北へ徒歩5分 靱公園内

会費 会員 二〇〇〇円

一般 三〇〇〇円

学生 一〇〇〇円

問合せ0797・22・6425  
関西日本サイ科学会事務局まで

### 五月本部例会予告

命とソマチットと般若心経の探検

講師 徳永康夫氏

科学ではまだ正体が掴めていない「命」というものを、宗教的アプローチではなく、難解な哲学的解説でもなく、具体的に分かり易く科学的に皆様と一緒に探検して、解明します。

人間と宇宙はどちらも二重構造になっていたのです。人間は「肉

体」と「本質の生命体」の二重構造。宇宙は「この世」と「あの世」の二重構造。そして「肉体」は「この世」に属し、「本質の生命体」は「あの世」に属していたのです。

何だ、宗教だ、と勘違いしないでください。これらのことは、真実だったのです。最先端の量子力学の一部もほぼ近くまで到達しています。驚くべきことに、2500年前の般若心経はとつくにこの事実を知っていたことが分かりました。科学を超えていたのです。そして、この「命」に、不思議な超微小生命体の「ソマチット」が、重要な役割をはたしていると思われるのです。ワクワクするこの情報を皆様にすべて公開します。

### ●徳永康夫氏プロフィール

1965年九州大学法学部卒。50歳で三菱商事退職後、東洋医学、アーユルベータ、ホメオパシー、物理、生物学、天文学、量子力学、釈迦の経典、新約・旧約聖書の研究、水・波動・気・輪廻転生などを独学。2004年日本ソマチット学会設立に参画、理事に就任。2008年ソマチットの発見者ガストン・ネサンをカナダに訪問。

NPO統合医療臨床情報センター理事。日本サイ科学会理事。(株)恒常代表取締役。著書に『命の不思議探検』がある。

日時 平成24年5月12日(土)

午後1時半～5時

会場 北とびあ7階701会議室

交通 JR京浜東北線王子駅下車

徒歩2分、ホーム最北端(赤羽寄り)の階段を下り改札

口を出て見える高層ビル

会費 会員 二〇〇〇円

一般 三〇〇〇円

学生 一〇〇〇円

### 九月本部例会報告

『3・11新文明の幕開け』  
〜日本人の使命〜

講師 鈴木俊輔氏

こちらの映像は2008年制作のハリウッド映画「2012」ですが、今年の「3・11東日本大震災」の津波を暗示する映像が出て来ま

す。

物質文明の崩壊のポイントは2001年の米国「9・11ツインタワーの崩壊」だと思います。

もう一つ新しい文明の幕開けを暗示させるのが、「3・11東日本大震災」なのではないかと思われる。「911+311」の計算をしますと、なぜか「1222」という奇妙な数字が出て来ます。奇妙な数字といえますと、私の生年1947年の下二桁「47」と今年の誕生日の年齢「61」を加えますと、「111」という数字が出ます。これは皆さんの生年の下二桁と今年の年齢を加えても、全員「111」になるのです。今年も1が3つ並び「スタートの年」を暗示しています。

東日本大震災の直後、現地の映像でコンビニに人々が長い列で整然と並んでいました。また余震で揺れた棚から菓子パンが落ちたのを、小さな女の子が拾って元の棚に戻した映像も世界中に放映され、日本人の秩序正しさが感銘を与えました。さらに千葉の田舎では、停電で信号機がつかなくなったときに、地元の爺さん婆さんが物干

し竿に布を巻き付けて、交通整理をしたということも聞いております。

もし日本にこういった地震がなかったらどうでしょう。私達は相変わらず飽食であったに違いありません。地震により一億三千万の人間がこの被災地に向けて、「さあこれからだ、頑張ろうぜ！ 皆手を取り合って行こうぜ！ 立ち上がろうぜ！」こういう誓いの思いを皆さんが集中されたのです。日本人が肅々として、列を乱さず、大声を上げず、略奪もせず、何とか生きていこうという映像が全世界に流れていったのです。もしこの地震が他の国で起こっていたらどうでしょう？ やはり日本で起こる必要があったのです。

大地震、大津波、原発事故のトリプルパンチを受けなければ、相変わらず我々はエネルギーの消費、飽食は変わらなかつたでしょう。不思議なもので日本という国は、広島と長崎の原水爆を人類最初に体験しました。もちろんチェルノブイリがありますけれども、またここで原子力発電の恐ろしさを見せていただきました。何か日本人というのは、どうも先駆けでや

らされている感がしなくてもありません。

この日本というのは、どんな小さな山にでも神社や祠（ほこら）があります。常に感謝する民族であります。2013年には伊勢神宮と出雲大社がそれぞれ同時に遷宮されます。日本列島は世界の雛形であると言われております。

田村珠芳氏の著書によると、富士山の御祭神である木花咲耶姫（コノハナサクヤヒメ）のメッセージとして、「日本は世界を救う担い手でその責任がある。日本人は誠実、勤勉、和の心などの特徴をもつ。神界は困難を体験させ、その目覚めを助ける。数年、地震、洪水が現れ、それが魂の浄化に作用する。人々は愛し合い、富は独占ではなく、分かち合う世の中に変わっていくであろう。物金の世は直に崩壊し、宇宙との交流が始まるが、その前に大きな浄化がある。そして日本の意識と技術が貧しい国々を救う。」と書いております。

日本の食卓は季節をいただくのですが、味噌汁、醤油、漬物、納豆、日本酒など発酵食品をよく食しますが、これらは放射能の体内汚染の排出を助けるそうです。

また日本語の清音五十音の言霊は現象をもたらずと言われている。

人とは「霊止」と書いて、「ひと」と読みます。これが古神道上での考え方であります。命と体と心の三位一体があつて初めて「霊止」が形成されるわけです。「命」は周りを照らすので、まさしく「鏡」であり、「体」とは立ち上がって歩き、たち（太刀）さばき判断するので、まさに「剣」であり、「心」とは喜怒哀楽でころころ変わるもので、まるで「勾玉」であります。すなわち私達「ひと」の中には「鏡、剣、勾玉」の三種の神器が収まっているのです。

「はじめに言葉あり、言葉は光なり、光は神なり」という文章が、ヨハネによる福音書第一章一節にあります。この場合の「言葉」は「宇宙創造神」の意識と解釈してよろしいのではないかと思います。ちなみに「言霊（ことだま）」というの、私が今マイクで皆さんに空気振動で耳の鼓膜を揺らすせながら、同時に私の意識を意識波動と一緒に入れています。意識波動と空気振動という物質エネルギー

と一体になっていっている生命現象は「言霊」しかありません。

「宇宙創造神」の最初の意識・思念から生命体が生まれ、同時に万物万象が生まれたのです。ここで重要なことは、私達はこの神様の子供であるということです。自分自身の心に向かって嘘をつける人はいないと思います。それはなぜかということ、私達が神の子であるからです。「宇宙創造神」の思念から万物万象、生命系一切を造りだしたとすれば、その末裔である私達自身が万物万象を造り出す能力があるのだということをもっとも言いたいのです。実はここが皆さんの研究しておられる「サイ」と関連することだと思えます。

意識とはエネルギー体であります。10のマイナス33乗センチメートルの「プランク長」以下の世界は粒子性はなく、まさしくそこは私達の意識と同じではないでしょうか。意識こそエネルギーではありませんか。私達の意識がこの物理空間に向かって、言霊を発して空気を振動と共に一体になった言霊の発言そのものが現象を造り出すということでもあります。

ニュートリノはついこの間、質

量が若干発見されましたが、光には質量がありません。私達の意識にも重さがありませんが、現象を造り出すことは可能です。私達は目をつぶって情景を思い出すことは可能です。例えば目をつぶって京都の桜をイメージすることは可能であります。それは京都の桜という映像を認識する、つまり光を見ているということですから。それは地球を通さずして、意識で光を造るということが可能であるということです。意識、すなわち光ということでもあります。同時に両方も質量がありません。



「宇宙創造神」というのは、この大宇宙を創った何か見えない神様だと思ふのです。私は「神様」というのは目の前にストーンと出てきたら、神様ではないというふう

に思っております。なぜならば、目に見えるそのまま出てきたとしたら、三次元です。三次元のところに出てきた方は、もう神様ではなく、我々と同体なんです。ですから「神」というのは常に感じる、心の中でもっと高次元存在なので感ずるしかないと思います。とりわけこの大宇宙を創られた方というのは、すべてを超えた非常に素晴らしい方です。

私達はこの地球上に自分自身が存在していることを非常に不思議に思っています。この地球に存在していることすら、奇跡だと思えます。地球は365.242日かかって、太陽の周りを廻っています。太陽系の一番外側の方を廻っている冥王星は260年かかって太陽を一周しています。その巨大な太陽系を一円玉の大きさとしてみると、我々の太陽系のある銀河の大きさは日本列島の本州の大きさとなります。

そこから比べると我々自分自身は実にちっぽけな存在であり、また奇跡的な存在でもあります。しかし、厳としてここに生きています。それを我々は宇宙から選ばれ

て存在させられているというふうには認識していただきたいのです。この事実が気がついたときに、自分はどう生きたらいいかを常に考えます。先ほど申しました通り、人間は「宇宙創造神」の末裔です。従って生きる目的は何かということ、「わくわく、生き生き、キラキラと生きる」べきであります。

私達の心がまず現象を造ります。従って環境を変えるのはある意味簡単です。自分の心を変えればいいからです。相手を変えるのだったら、自分を変えればいいからです。悲しい環境というふうには自己認識すれば、環境は悲しくなりません。いや楽しい環境だと意識がシフトしますと、現象が変わります。

想念のエネルギーが物質化するのです。私はアインシュタインの発見した式  $E=mc^2$  の E は意識エネルギーというふうには理解します。それが質量 m を生み出すのだというふうには考えられます。想念エネルギーが宇宙法則に従い調和的建設的に集中固定すると、物質化現象化します。それを私は「言霊量子論（ことだまりようしろん）」と呼んでおります。空海はそれを

「声字即実相(しようじそくじつそ  
う)」という表現をしました。

私達は何のために生きているかと申しますと、もちろん「うきうき、わくわく、この人生を楽しむために生きている」わけです。しかしながら必ずそこに落とし穴があります。進化するためには、必ずハードルがあります。それは「執着」であります。「人よりももっと物をもらいたい」、「人よりももっともっと美しくなりたい」、「人よりももっともっと儲けたい」というような執着心が、心のスパイラルアップを押しとどめてしまうのです。

「幸福(しあわせ)」というのは、「喜び」であり、「感動」であり、「心の充実」であり、「感謝」なのです。これらはすべて質量がありません。これら4つを合わせて「四合わせ」幸福」となります。私達は幸福を造り出す義務があります。そのため私達は神様から今存在させられているのです。幸福を造り出すのが「運命」であります。「いのちを運ぶ」と書いて、「運命」となります。運命を良質なものに変えていくのが、「使命」であります。幸

福を造るということが、本来の使命なのです。

私達が味方につけたいのは、家族であり、ソウルメイトであり、会社の社長でもあります。本当に味方につけたいのは大宇宙です。もし大宇宙を味方につければ、一切大丈夫であり、最強です。そのためには、私達は宇宙の心になれたいのです。

私達は太陽エネルギーを戴いていますが、太陽から請求書が来ることはありません。空気も水も地球から無料で与えられています。すなわち「光と熱」「空気」「水の命の三要素はすべて無料なのです。すべて見返りがなく与えるのが宇宙の心なのです。

宇宙を肯定する言葉の一つが、「ありがとうございます。」あるいは「ありがとうございます。」という言葉です。「ありがとう」という言葉は、我々が宇宙に存在することの「有り難し」から来ています。従って「ありがとうございます。」という言葉が、宇宙の心と同調します。我々が与えられた環境一切を、受け入れる、あるいは認めるという心の作用は、「愛と感謝」そ

のものであります。

人生に一切無駄なことなど何一つありません。それが進化のハードルとなり、すべてから学ぶということ。愛と感謝があれば、宇宙の法則と共鳴して、生命エネルギーが体内に流入します。生命エネルギーが体内に入りますと、心の充実、喜びがあり、健康そのものになっていきます。健康そのものになってきますと、また「ありがとうございます。」という言葉が大宇宙に発します。そのサイクルが繰り返します。

従って、日本語の最強の祝詞(のりと)は何かと申しますと、「ありがとうございます」の十文字なのです。何か困ったときに、「あまてらすおおみかみ(天照大神)」の十文字でもいいのですが、「ありがとうございます」の方が、もっと最強になります。

幸福になるスパイラルは「感謝の言葉、肯定的な言葉を使う」ですが、その反対の不幸になるスパイラルは簡単です。「汚い言葉を使う」、「一切を否定する」、「目の前の現象を否定する」ことです。

## 十一月本部例会報告

### 心霊現象について

講師 小林信正氏

心霊研究の発端は1848年、アメリカの「ハイズヴィル事件」からです。この事件は、ニューヨーク州の一寒村ハイズヴィルの借家に住むようになったフォックス一家が、夜毎ラップ音や家具などが動くポルターガイスト現象に悩まされるというものでした。やがて姉のマーガレットと妹のケティが、目に見えない者と交信するようになり、さらに地下室や壁から人骨が発見され、交信相手は靈魂に違いないという噂が拡がり、新聞で大きく報道され、騒ぎが拡がりました。この事件がきっかけとなり、著名な探偵小説家コナン・ドイルや有名な科学者による心霊研究が行われるようになりました。その後イギリスやアメリカでも心霊研究協会が設立されました。

我が国での心霊研究の草分けは、東京帝国大学の福来友吉博士でした。福来博士は人間には科学の常

識を越えた能力があると考え、明治四十年代から透視能力者の御船千鶴子や透視・念写能力をもつ長尾郁子を被験者に研究を続けましたが、二人の不幸な死があり、福来博士も大学を追われる身となりました。

大正時代に心靈科学研究会を発足した浅野和三郎は、多くの傑出した物理霊媒を見だし、物質化現象や霊界交信など数々の実験に挑みましたが、昭和12年志なかなばにして、世を去りました。

背後霊団とは、霊界にいる霊魂達が現世の個人や団体の使命のために護ろうとする意思をもつ霊的な存在で、守護霊（霊界の先祖霊で守護する役の霊魂）、指導霊（職業や趣味の技術面で指導する霊魂）、支配霊（職業上で人を指導した経験のある霊魂）、補助霊（先祖霊で現界と霊界の仲介をする霊魂）があります。我々は背後霊団の高級霊団と通じると運勢が良くなると言われます。

低級霊としての未浄化霊とは、浮遊霊（事故などで死を認めず、幽界でさまよう霊魂）、自縛霊（この世に執着している霊魂）、地縛霊

（特定の場所に執着している霊魂）、憑依霊（人に未浄化霊が憑いたもの）があります。また因縁霊は、土地・家屋、骨董・刀剣・人形等、先祖からの因縁、前世（カルマ）からの因縁から生じるものがあります。怨霊でよく知られているのは、菅原道真の怨霊を鎮めるために、京都に北野天満宮が建てられました。



私はオーブにも非常に興味を持っており、昔から霊魂が玉として見られたりしてきましたが、1996年に私はビデオで、動くオーブを撮影しています。私はアメリカのスタンフォード大学の物理学者、クラウス・ハイネマン博士と仲良くなりましたが、博士はオーブを霊放射の姿で、高度に進化した知性的なものともなっています。

接死体験とは、死期の迫った人が既に亡くなった親族や友人などを、あたかも目の前で見えているかのような意識状態をいいます。体外離脱は魂の緒が切れると亡くなると言われていますが、私の母親の臨終のときに、靈感のある私の娘と家政婦さんが、母の魂が頭から抜けて天井にいることを証言した実例があります。また臨死体験は、安らぎ・幸福感、体外離脱、トンネルに入る、光り輝く世界、過去の思い出し、超越者や死んだ親族との再会があります。

ここから本題に入りますが、過去世というカルマの影響によって今日我々は生きているのですが、因果というようなことをよく言います。霊能者の先生、中にはインチキの方もおりますが、本物の霊能者は、先祖からの因縁なのか、前世からのカルマなのか、死霊による霊障か、生き霊による災いか、神仏の祟りか、土地の因縁か、魂の萎縮（すなわち「霊障だ」と思いつい込み）ですが、これがかなり多く8割くらいです）、自己の所行（自分の蒔いた種）か、を鑑定してアドバイスします。

◎運命を良くするには  
神仏に対しては敬う心が大切で、先祖霊に対しては供養が重要です。子孫のためには善行を積み禍根を残さない、「積善の家に必ず余慶（よけい）＝幸福」有り、積悪の家には必ず余殃（よおう）＝災難有り。」という中国の故事成語があります。要するに自分が蒔いた種の通りの花が咲く、それは自分自身の行いを正せば、子孫も良くなるし、自分自身の運勢も良くなるということなのです。

生き霊に対しては相手に恨まれても憎まれても自分は無償の愛でもって返す。自分がまた恨めば泥仕合になりますからね。憑依霊に関しては、霊能者などに浄化してもらおう。他者に対しては愛と感謝の心をもつことが大事であることは、超一流の政界・財界人・スポーツ選手がよく言うことです。

宿命というのは定められて、私ほどどここの家に生まれて、そこで修行するんだ、ということでは変えられないことです。しかし、運命というのは自分の努力で変えられるものです。

川端康成は「意味がない運命な

どない。今の運命は自分自身が創造したものである。運不運も自身が行いの積み重ねである。過去現在未来も自分自身で選択したものである。靈魂は生死を繰り返して、この世の人生で何かを学び成長する。」と書いておられます。

この「何かを学ぶ」というところが重要でして、何を学ぶのか、結局何に気づくのかということも大切だということですよ。なぜなら心霊のことを知ることによって、魂があり、来世があるならば、それぞれの人生で気づきと学びがあり成長することができるわけです。心霊現象を知ることが目的ではなく手段であって、心霊の世界を体験することで、現世の生き方に気づくこととなります。

結局今の世の中は、どちらかというと地位、名譽、財産などすべて欲にからんでいるわけです。お釈迦様ではないけれども、結局人間の煩惱は欲で固まっているので、欲を捨てるのが大切だといいますが、なかなか凡人は欲を捨てられません。でもこういうことを学ぶことによって、靈的というものは本当にそういう靈魂の世界とか神仏の世界があるとなると、やはり

愛とか真心とか寛容の精神というものが、地位、名譽、財産などよりも、靈界へ行くともっと重要だということに気づくでしょう。

自分は天命によって生かされているということを知ること、だから自分で命を絶つことは生かされていることに対する冒瀆である、人のために奉仕することは自分を活かすためである、ということですよ。以前から私は学生に「情けは人の為ならず」という言葉はどういう意味か知っていますか?と聞きますと、堂々と「情けをかけるのは人のためにならないんだ」という答えが6割から7割返ってきた驚きます。「情けをかけるのは自分のためなんだ」ということを知らないで、結局そういうような世の中になってしまっています。

「人生は自分に与えられた問題集」といえます。お釈迦様は人生における「四苦八苦」を挙げています。「生老病死」の四苦と「愛別離苦(愛する人ともいつかは離別しなければならぬ苦しみ)」、「怨憎会苦(嫌いな人でも会わなくてはならない苦しみ)」、「求不得苦(欲しいものが得られない苦しみ)」、「五蘊盛苦(感覚・心身の乱れから

生ずる苦しみ)」の四苦を加えて八苦となります。

心霊科学協会のある靈能者が「死後の存続や生まれ変わりが事実ならば、不幸や挫折というものは重要な意味をもっている。今不幸だ、今挫折してにっちもさっちもいかない、というのも一つの運命であって、そこで何かを感じなければいけない。ただ苦しい、苦しいではなく、そこに人生の一つの宿題・問題集があつて、それを解くことによって自分の魂が大きくなる。自分が蒔いた種は蒔いた通りの花が咲く。人生の試練というのは、悲しみや苦しみや絶望が大きいほど魂は成長する。よく平々凡々と人生を過ごさず、すなわち何の大過もなく過ごせば、一生安楽で良かった、と思うでしょうが、こういう心霊の世界ですと、それはあまり魂の成長にはつながらない。」と言いますね。むしろこういう苦難があつて、特に若いときに苦勞を経験した人は、人に対する情けとか思いやりが養われます。ずっとエリートコースできた人は、「自分さえ良ければ」という輩が多いですね。

だから不幸のときほど、気づき

のチャンスだ、何かを教えているんだよ、と。病氣の時でもそうです。ですから私は、人の喜びが分かる人、人の悲しみが分かる人、人の苦しみが分かる人、人の心が分かる人、こういうような人間になることが理想じゃないかなと思っております。

どんなに苦境にあらうとも、苦しさの中で自らの存在価値を見いだした人は生きていくことができますが、「自分は何の役にも立たない、社会に役に立たない」という意味の喪失を感じた人が、鬱病になって自殺に走ったりします。

結局、自分の生きていく価値や意味を感じるとき、自分が人に必要とされている、人のお役に立っていると感じる時、つまり人生において自分の果たすべき役割を自覚するとき、人は生きがいを感じるのです。ということは、世のため人のため、何か人の役に立つことを少しでもすることが生きがいに通じるわけです。

生きがいとは生存の充実感であり、喜び、感動、希望によって生きるということですよ。この中でも感動は非常に重要です。なぜ、この世に生まれてきたのかというと、結

局霊的な魂の進化と向上のために我々は生まれてきたのだ、と心霊の世界ではいいいます。

まず「無償の愛」、「感謝」、「素直」、「反省」の四つの心が大切です。また自分の霊的向上により高級霊とつながると、直感的にいろいろ教えてくれます。自分自身の使命、自分は何のためにこの世に生まれてきたのか、を知ることが重要です。

以前国会議事堂の近くの公園の中に書いてあったのですが、いい言葉なのでメモってきました。

考え方が変われば、行動が変わる  
行動が変われば、習慣が変わる  
習慣が変われば、性格が変わる  
性格が変われば、人格が変わる  
人格が変われば、人生が変わる

要はまず自分自身の考え方を变えようということ、最終的には人生を変えることができるということです。

先ほどお話ししましたように、人生でどれだけのことを達成したかよりも、どれだけの人々に役に立ったか、どれだけの人々に感動を与えたか、が重要です。人の役

に立つのはどんなささいなことでもいいのです。例えば目の不自由な人が横断歩道で躊躇していたら、ちよつと手を貸してあげるとか、電車の中でお年寄りに席を譲ってあげるとかいうことです。そういう人への思いやりが、今の日本ではまだ欠けていると思います。

最近沖繩のある一人の青年(匿名)の半生を書いた本「目覚め」を読みました。自分で起業し景気が良かった会社が沖繩海洋博後に倒産しました。その正月に、白鷺に誘われるように山の中に入り、寒中なのになぜか滝行をしたくなり、その直後憑き物が落ちたように非常にすがすがしい気持ちになり、まるつきり人生観が変わったということ、当時全国的に荒れていた学校を鎮めたいということ、ざりざりの生活費以外はすべて、仏の教えを描いた絵本や花の種を購入し沖繩や九州の多数の小中学校に配りました。彼の愛に満ちた無私の行が多くの人々に感動を与え、その後海外も巡礼し、現代の求道者のように、多くの人々の「目覚め」を導いています。

### 第三百六十二回関西日本サイ科学会研究集会報告

## 2012年問題とサイ科学的進化

“PSIentific Evolution & 2012”

講師 阿久津淳氏

とき 平成23年10月15日(土)  
ところ 大阪科学技術センター

阿久津淳(あくつ・じゅん)氏は、日本サイ科学会 宇宙生命研究分科会世話人、著書「未知現象学入門…スピリトスフィア序説として」、他に「マージナル・サイエントイスト…異能科学者列伝」「医聖…異能医学者列伝」など。

人工地震、エレニン彗星の地球衝突、第三次世界大戦などを回避し、この激動の時代を如何に生きるべきか? ホモ・サピエンスからサイ科学的進化を遂げて、ホモ・コスミクスに至るにはどうしたらよいか? 2012年を直前にして「2012年問題の核心」に迫って頂いた。

2012年は「相転移の年」になる!

2012年問題というのが浮上してきました。これはマヤのカレンダー(長期暦)が2012年12月21日で終わってしまったことに、世界各国の知識人がそのわけを考え始めたのですね。「何故2012年12月21日でマヤのカレンダーは終わってしまうの?」「世界あるいは人類はそこでタイムアウトなの?」「人類は滅亡してしまうのか?」等々、いろんな疑問が湧いてきます。

本屋に行きますと、2012年関連の本が幾つか並び始めていることに気がつくでしょう。そこで私は仲間と一緒にまさに5年前に当たる2007年12月22日に「第一回アセンションシンポジウム」を開いてみたのです。その時、不思議大好き人間たちのいう2012年にまつわる「アセンション」の意味を考えてみました。一体全体、このアセンションという言葉の意味するところは何か?と、日夜悩んでみました。そして、しばらく時間はかかりましたが、ようやく私なりに答えができました。

解答はズバリ「相転移」でした。相転移とは大雑把に言えば、水から水蒸気に、水蒸気から水に、水から水に変化する、固体・液体・気体の相の転移のことです。わかりやすく箇条書きにしてみました。



1. 次元上昇 3・4次元から4・5次元へ
2. 空中携拳 地上から空中へ
3. ニビル接近 安定した地球から変化する地球へ
4. フォトンベルト 地球発想から銀河発想へ
5. メタモルフォーゼ 常態から変態へ
6. 進化 ホモサピエンスからホ

- モコスミクスへ
7. ウチュウジン 地球人からウチュウジンへ
8. 地球温暖化 環境破壊から環境浄化へ
9. 5次元 物質次元から精神次元へ
10. カタストロフ 定常位相から相転移へ
11. 仙人 俗人から仙人へ
12. 宇宙政治 派閥政治から宇宙政治へ
13. パラダイム SCIENCEからPSIenceへ
14. 物質エネルギー観 物質エネルギーからダークマター・ダークエネルギーへ
15. チャクラ 7つのチャクラから無限チャクラ(カラチャクラ)へ
16. 脳科学 ニューロンからグリア細胞へ
17. メヴィウス メヴィウスの帯からクラインの壺へ
18. アクエリアス 魚座から水瓶座へ
19. 食生活 ジャンクフードから自然食へ
20. 物質と霊 物質か霊か? から半霊半物質へ

21. 因果 アルパからオメガへからアルパIIオメガへ

以上

つまり2012年は「相転移」があらゆる領域で起きるのではないかと!?ということが、「アセンションシンポジウム」を4回開催してみても、感じた率直な印象なのでした。2012年問題は若いみなさんにはなかなか難解な問題かもわかりません。というのも現代社会が抱えている数多くの矛盾や政治経済的なものから人類・生命進化の問題まで生物・社会・宇宙領域に及ぶ幅広い問題だからです。

より具体的な2012年予測!

UFO…UFOフリートの地球行脚もそろそろ終焉し、誰にでもわかる形でUFOがより積極的に出現! クジラのファフロツキー現象のようなアンビリーバボーな、地球外知性の関与としか考えられない現象が起きるのだろう。

経済…米国、ヨーロッパ、中国の経済破綻から世界恐慌になってしまふ。ドイツとニッポンだけがか

ろうじて生き延びるが、自給自足時代に突入する。資本主義も共産主義も崩壊! 宇宙情報自由主義に移行する!

政治…イスラエル・米国に対する中東の反発が限界を超え、第3次世界大戦が始まる。

人口…超70億人時代で各国の人口アンバランスが問題化!

地球…ポールシフトが進行し、地質学的変化が起こり、ムーやアトランティスの証拠も出現する。

ニッポンでは東京湾直下型関東大震災と富士山噴火の予兆が発生!

人類進化…俯瞰的あるいは鳥瞰的な5次元人間がぞくぞく出現! これまでは個人主義的なエゴイストが跋扈してきたが、2012年以降は利他主義的な正直者が先頭に立つ。

第3の眼が開眼され、チャクラ・クンダリーニに自由な者が表に出てくる。

☆

☆

今回は「2012年問題の核心」に迫って頂いた。

当日の参加者は会員10名、非会員18名、合計28名でした。今回のカセットテープは2000円（送料込み）です。ご注文は関西日本サイ科学会事務局木村（電話0797・22・6425）まで。  
（関西日本サイ科学会会長

河野 明夫）

◆ ◆

第三百六十三回関西日本サイ科学会研究集会報告

菅原道真公の知られざる秘話、篆書（てんしよ）の持つパワー、たつ（龍・竜・辰）の字の不思議

講師 塩小路光孚氏

とき 平成23年11月12日（土）

ところ 大阪科学技術センター

塩小路光孚氏は菅原道真の38代目の直系の子孫である。現在菅家塩小路篆刻道、菅家塩小路流書

道、菅家塩小路流文道の家元として日本、海外で活躍。日本ペンクラブ会員、日本徐福会常任理事、NHK文化センター講師、読売文化センター講師、生涯教育連盟顧問、三元会会長。

著書「菅家文章、古銅印、印の押し方」、「氣を呼ぶ字」、「恋を呼ぶ字」ほか多数。最新著書「随筆「東風吹かばー神聖文字・篆刻と書を家業として」」。



古代から篆書は神聖文字（ヒエログリフ）として神と人とのあいだを繋ぐ大切な文字であった。このため、神を祭り、お願いごとや占を行う場合、篆書を用いること

は最も大切なこととされてきた。祭りや占いの家としても良く知られていた塩小路家の先祖「土師」氏一族には、祭り、祈り、占いに用いる篆書や篆刻の具体的な用例、用法が伝承されており、各種の行事や儀式にもこの方法が用いられてきた。

平安の初期、これらのいろいろな方法をまとめ整理したのが、菅原清公卿、菅原是善卿、菅原道真卿の三代のときである。

菅原清公卿は遣唐使として唐に渡った。唐に渡った菅原清公卿は早速唐の朝廷に伝わる伝統行事、儀式法制などの収集を積極的に行った。

この中で特に重要視したことは篆書、篆刻と、儀式の関係、及び土木建築の設計である。

儀式・篆書・呪願文の整備には中国の様式を取り入れる必要のあることを清公卿は痛感していたためである。

中国の儀式は、佛教的なもの、道教的なもの、古来からの自然崇拜、星占いその他いろいろなもの

が渾然一体となった、非常に複雑なものである。

この複雑な儀式を、苦心の末、学び取って、我が国へ持ち帰り、古来からの儀式と融合させ菅原家三代の努力によって、我が国独自のものとして完成させたのが「節」の儀式と「篆書」の基本となるものである。

菅原氏の始祖は、天穂日命（あめのほのみこと）である。天穂日命は天穂火命とも天菩此命とも書く。

天穂日命とは、「稲穂が太陽の光によって美しく輝く」という意味の内容を持つ。

日本人の文化の基本は、稲作文化であるが、この日本人の最も大切にしている「稲穂」が日本民族・日本という国の象徴でもある太陽によって美しく輝いているありさまをそのまま名前にしたものが天穂日命なのである。

天穂日命の一七世の孫の野見宿禰命（のみのすくねのみこと）はふたつの大きな仕事を残した。

そのひとつは、初めて埴輪を作ったことである。当時、有力な人

が亡くなると、大きな墓が作られた。その墓には多くの殉死者が生きたが埋められたという。野見宿禰命は、埋められた殉死者の縁者が泣き悲しむ姿を見て、時の天皇、垂仁天皇に家伝の「命の」火を用いて焼き物を焼き、これを墓に埋めることによって殉死にかえることを提案した。

これが、受け入れられて、垂仁天皇の皇后日葉酢媛命（ひはすひめのみこと）が亡くなった時、殉死にかえて埴輪が墓に埋められた。この功績によって天皇から土師臣（はじのおみ）の名をいただき、焼き物の家となった。

同じ頃、大和地方の当麻蹴速（たいまのけはや）という者が、暴れまわっていた。それが天皇の耳に聞こえ、野見宿禰命が召された。野見宿禰命は、この命がけの相撲で勝ち、奈良中部の地に平和をもたらしたのである。これが相撲の始まりで、野見宿禰命は相撲の祖と呼ばれ、後、神聖な行事として相撲の行われた七月七日に相撲の節会が設けられた。

これまで墓は大事に保存され気が保たれていたが、今は不用意に

墓が開かれるので気（その中のエネルギー状態）が変化し結果的に破壊されている。

道真はその父、祖父と同様詩に長じていた。

塩小路家では二歳から詩を教え、字を書かせる。二歳で座る練習をすることで人は落ち着いた人になつていく。

詩をどう解釈するか。月夜に梅花を見るという詩がある。これをどう解釈するか。などから学ぶのである。

塩小路家では西側の窓はよくないとする。

篆書で書いた文字を西側に貼っておけば、いろんな悪いものがよきになる。

これらは明治維新までは日常のことであった。

今科学は科学教とでもいうべき状況で、一方的に科学によりかかっておりこのようなことをとりあげないが、実際に西に窓があつて不幸な人は多い。関東では窓から富士山が見える家のことである。

愛という字は中心に心があり、回りは足でゆつくりとぐるぐる回

る。これは他人をおもいやることを表す。現代では愛という字は一つしかないが、篆書には色んな状況に相当する愛という字がある。人の心を傷つけぬようそつと歩くことを表している。

あるイベントで券は売れたが入場者は少ないとの話があり、入り口に愛の篆字を大きく飾りそれから入場が多くなったという。

篆書の文字数は多いのであとで述べるように180歳位まで生きないと覚えられない。月の篆字でも満月の月と新月の月では異なる。篆書は完成された字であり、誰でも書くものではない。面白おかしく書くものでもない。神と繋ぐものでありヒエログリフである。

恋を呼ぶ字は人に好かれる。「好き」という字を練習すれば美しくなり好きになる。

天の気、地の気、人の気が和して一带に満ちると豊穰の時を迎える。

気には、真気、正気、邪気の三種がある。

真気は人の身体の中に蓄積されて行く気で、良い気の根本となる。この気が増えれば健康になり寿命

も伸びる。正気は良い気であるがあまり永い間身体の中に留まっていることができない。正気は真気のエネルギートもなる。邪気はまやかしの気、嘘の気で虚風ともいい、人を傷つける気である。

邪気はいったん身体の中に入れば体の中に深くしみ込み、しかも自然に排出することがないという厄介な気である。

真気は邪気が増えると減る。正気は気が動く。展覧会に貼つてある字は気を吸い込む。

真のある字は真気を吸い込み、邪のある字は邪を吸い込む。

印鑑の枠は○より四角がよい。その枠が方角を表すからである。方向が違つて違つた形の気となる。なくなる訳ではない。

篆書は神と結ぶから特別な力がある。いい加減な文字の篆書はよくない。

篆書はよい気であること。よいイメージを持つて書くときよくなり、悪いイメージを持つて書くとき悪くなる。

文字について、最近の字引は悪

いもの不吉なものが多い。それを見る子供は悪いイメージが多くなる。

十干、十二支について、干は天、支は地を意味する、十干十二支で一巡りすると60年であり、この60年を一元という。本来人間は上元、中元、下元の三つの元を180年生きることで、十分な経験ができるのである。

「龍」は二枚貝である。龍は沢山いてそれが力を持っている。沢山のものがあることがめでたい。

「みずのえ」は一定のものがどんどん増えることを意味している。文字は気と形からなっている。水の中に沢山の龍がいる図を現している。

文字(篆字)を分解してその字の持つ意味を探る。

一つの文字を沢山書いていと文字の持つ意味が分ってくる。

「えと」は篆書を辿ることの意味がはつきりする。

寿の文字は10000字くらいある。長生の字である。

古人の遊びは篆書から始まった。「己」の字を土地に掘り水を流す。これに気を集めてその形の気を流

し調和する。

文字を書いていると分ってくる。

☆ ☆

今回は篆書が神と繋がる文字であること、現代我々が一つの文字しか当てていない文字に概念ごとに異なる文字が創られていたという。興味深い話であった。

当日の参加者は会員13名、非会員12名、合計25名でした。今回のカセットテープは2000円(送料込み)です。ご注文は関西日本サイ科学会事務局木村(電話0797・22・6425)まで。

今後の予定

3月17日(土) 桜井喜美夫氏「出口 王仁三郎の遺言」

4月21日(土) 久保田昌治氏「水のはなし ― 活性水・機能水とは、その生体への作用、水のつくことばなど―」

5月19日(土) 上森三郎氏  
(関西日本サイ科学会会長)

河野 明夫



## <サトルエネルギー学会主催 '12春の大会(日本サイ科学会協賛)のお知らせ>

**春の大会テーマ** いよいよやってきた2012年 これからどうなる日本!

(大会委員長 井筒 貴康)

講演・実演者 松尾 みどり、鈴木 眞之、和 真音、佐藤 清、藤原 和晃、竹本 良  
(敬称略)

日時：平成24年4月15日(日) 開場9:45 開演10:15 終演18:30

会場：(財)修養団SYDホール JR「代々木駅」徒歩5分(東京都渋谷区千駄ヶ谷4-25-2)

公式サイト URL：<http://www.subtle-eng.com/index.html>

【お申込み要領】 FAX 03-5730-6451 サトルエネルギー学会 シンポ大会係

FAX記載項目：氏名・住所・TEL・チケット枚数・合計金額

料金：予約料金：サイ科学会員・サトル会員価格同一 ￥5,000 (一般予約￥7,000)

【振込先】 お申込みと同時に下記宛お振込み下さい。ご入金確認後チケットを送付します。

郵便振替振込み先：00170-1-196569 サトルエネルギー学会 (※3/1より受け付け開始)

主催：お問合せ サトルエネルギー学会 03-5730-6450 E-mail [information@subtle-eng.com](mailto:information@subtle-eng.com)

HFとLF、RR間隔のパワースペクトル解析等は指尖脈波測定器 (BACS) から画像出力されてくる。他方、鹿児島大 (医) の実験解析・研究結果等を見ると、脈診と指尖脈波のカオス解析結果との間に有意性のあることが報告されている。次に、著者らの実測結果をみる。

測定は2012年1月28～29日の2日間、パイロット実験を行った。場所は駒ヶ根市の大御食神社と分杭峠 (入野谷、瞑想室) の2箇所、被験者はKH、YO、SJ、KN、SG、TMの6名 (神社3名、入野谷3名) で行われた。詳細は論文報告する予定なので、本稿では略述する。神社測定は28日 (土)、14:00～15:30、晴れであるが微風があった。深い杉木立の下で、残雪 (約5cm) のある境内なので、気温約5℃と極寒く、悪条件であった。瞑想室測定は29日 (日)、11:00～12:00、晴れ、室温は約7℃、終了時には約10℃ (ストーブ点火) となる。底冷えがあり、肌寒く、好条件とは言いがたい。被験者は、初めに家庭用の血圧計で、血圧測定2回、次ぎBACS測定1回を行う。神社では散歩やお参りをし、約30分間滞在する。瞑想室では瞑想をして、約30分間それぞれの場所に滞在する。その後、血圧2回、BACS1回を行う。今回は、紙数の都合から1名の場合について述べる。

SGの場合 (入野谷、瞑想室)。血圧をみると、滞在前 (前と略記) は182/84、170/81であるが、30分の滞在后 (後と略記) は160/77、160/74。全体として寒さの為に高めではあるが、入野谷瞑想室の滞在によりリラックス傾向になったといえる。左手中指の指尖脈波をBACSで測定する。加速度脈波 (表示) の特徴として、前に比べ、後では波形パターンと波形指数 (血管の硬化と循環度指数) a、b、c、d、e、並びに血管硬化度 (SDPTGAI) が極度に乱れている。SDPTGAI変化の平均値でみると、前は微変動で平均値は (約-0.2) なのに、後では変動が大となり (約+0.4) となっている。つまり、滞在により血管は弾力を失い、硬化している。気場の効果は陰に出たと判断できる。

自律神経調整機能をみる。心拍数は、前と後で、平均値と変動とも、ほとんど変化していない。心拍変動解析 (パワースペクトル密度) から求められる変化傾向を見る。前では緊張 (LF/HF) とリラックス (HF) 変化が大で不安定であるが、後ではそれらの変化は小になり落ち着く。この傾向はパワースペクトル密度表示の図にも現れている。つぎに周波数領域の数字で見る。前に比べ、後ではHF、VLF、TPの数値が小になっている。これはリラックスと緊張が共に減少し、身体全体のパワーが小になる事を意味している。

アトラクタ表示をみる。図示 (6個) されたアトラクタは、入野谷瞑想室の滞在前と後では、明らかに変化している。気場の気 (サイ) が身体に作用して、変化を与えた (気の「証」変換か) のであろう。変化傾向をグラフ表示でみる。リアプノフ指数の変化は、前と後とも、変動は同程度であるが平均値は前が約0.2、後では1.4となり大きな値がえられた。エントロピー変化は、前は変動が小であり、後は変動が大で、平均値は前が約7.9、後は約7.4となった。エントロピーの数値でみると、前が0.2、後が1.1で、より複雑化している。つまりカオス変化が大であり、柔軟性 (生命力) が大となる事を意味している。これらは陽である。

以上、陰と陽があること、内容が複雑である事は、今後の気制御に関して有意義であるといえよう。他の5名の場合は、複雑ではあるが様々な陽 (或場合は陽陰) の結果が得られている。

以上、BACSによる指尖脈波の測定により、人体と気場の関係を観測・判断する事ができた。また駒ヶ根、伊那・長谷の気場としての効果も有望であることが推定出来、それらの最適活用方法も設計が可能である事が判明した。つぎの目標は「願い事を叶える」方法をどの様に計画・設定するかであるが、これについては別に述べる予定にしている。お世話になり、ご指導戴いた長野県会議員佐々木祥二先生に御礼申し上げます。

の量を受光ダイオードで計測して(毛細血管内の血流を受光して)血流変化を記録している。つまり、血流内のヘモグロビンが近赤外線を吸収するために、透過する光の量が血液の増減に従って増減する性質を用いている。脈診の代わりに光電式センサーを用いる事により、生体内を流れる気血(気、サイ)の状況が推定出来るとされている。

他方、パワースポットと呼ばれる気場(聖地、気の集積地)には、気(サイ)などのエネルギーが潜在しており、このエネルギーが気場を訪れる人達に作用して、気(サイ)を流動させる事により、結果として「願い事」を叶えさせたり、癒しを与えたり、元気づけている。例えば、長野県の伊那市長谷の分杭峠には、狭い山道や斜面に大勢の人達が押しかけている(一日に、300~1200名)。多数の人達(約70%)には効果が無く、僅かな人達のみには効果があり、「願い事」が叶えられる様子である。推定すると、或条件を満たした場合にのみ、パワースポット(気場)の気(サイ)と体内の気(サイ)が作用しあって、体調を整え、「願いが叶う」という効果が得られる様子である。本稿では、第一段階として、効果が得られるか得られないかを判断する前提として、パワースポット(気場)に参加(滞在)する事により、体内の気(サイ)がどの様に変化するかについて、検討する。

## 2) 指尖脈波測定器による測定

パワースポット(聖地)が生体に与える影響を知る為に、気場に入る直前に指尖脈波を測定し、気場に30分以上滞在して呼吸法、瞑想、気功、祈り、真言、CDを聞く等を行い、気場から帰る時に、また、指尖脈波を測定する。気場に参入(滞在、訓練)する事による効果としては、「陽」の面と「陰」の面の両方が期待出来る。風にゆれる木の葉、空気の動きなど、自然界の多くの物は揺れている。シューマン・レゾナンス(7-8Hz)と言われるように、地球自体も揺らいでいる。揺らぎとカオスは、身近なところで数多く見られる普遍的な現象であ

る。他方、カオスは混沌とも言う。一見、ランダムに揺らいでいるように見える場合でも、実は、簡単な数式が基礎にあり、カオスが成立する条件に従って、カオス・アトラクタとして、揺らいだ状態で、存在している場合が多い。

測定にはBACSアドバンス(Bio-Activity Check System advance Version, CCI社製)を使用した。指尖脈波の時系列変化を得る為に連続測定し(波形の画像出力表示あり)、カオス解析を行い(アトラクタの画像表示あり)、カオス指数としてのリアプノフ指数 $\lambda$ (揺らぎ指数、複雑度合い)、エントロピー(自己組織化の度合い指数)等を算出する(変化表示あり)。脈波を2回微分して加速度脈波を求め(画像表示、SDPTGAI変化表示あり)、その波形についての波形指数(血管の硬化と循環度指数)a、b、c、d、eとパターンを算出して表示する。測定された脈波の山峰の位置(R)を読み取る事から、間隔RRとそれぞれの振幅が求められ、RR間隔から心拍数(変化表示あり)が求められる。さらにRRのパワースペクトル解析(振幅の2乗と周波数の関係、グラフ表示あり)を用いる事により、自律神経活動を記述する指数HFとLFが求められ、HFと(LF/HF)の時間変化が表示される。

## 3) パワースポットの測定結果

一例を解説する。揺らいでいる現象がカオスかどうかを決める方法の一つにリアプノフ指数 $\lambda$ の計算がある。求められた $\lambda$ が正(0より大)で、大きい程、カオス性は大きであり(アトラクタはどんどん拡大する)、生命力が大きい事を意味している。この時、自律神経調節能力は増加し、全体的な活動状態TP(表示あり)は増加する事になる。画像表示されているカオス・アトラクタを見る。アトラクタのサイズが大である程、血管が拡張し、脈波の振幅が大になり、リラックスする事を意味している。エントロピー値はカオスの軌跡の複雑さを示すもので、大になるほど、より複雑になる事を意味している。なお、リアプノフ指数 $\lambda$ 、エントロピー、加速度脈波指数、自律神経指数



〒271-0047 千葉県松戸市西馬橋幸町41-506 日本サイ科学会発行

電話 047-347-3546 FAX 047-330-4091 E-mail office21@psij.mail-box.ne.jp

公式サイト <http://homepage3.nifty.com/PSIJ/> ML申し込み先 office21@psij.mail-box.ne.jp

## 指尖脈波(カオス解析)法によるパワースポットの計測

佐々木 茂美 苗 鉄軍

東洋の伝統医学(漢方)では、身体内の「気、血、水」の巡りを「気血の循環」と呼び、これが心身の健康の基であり「やる気」や「元気」の源泉になっていると称している。また「本当の意味での健康」は、体の内外からどんな刺激(例、急激なインパクト)が与えられたとしても、滑らかに速やかに対処できる能力や機能を持つことにある、と主張している。本報は、パワースポット(気場)を訪ねること、ならびに滞在(参入)する事によって、気血水の循環や心身の健康にどのような変化が与えられたかについて、指尖脈波のカオス解析法を用いて検討することにした。

### 1) 研究の意義と目的

伝統医学は、両手の手首の寸口と呼ばれる動脈の拍動部変化(血流の変動)を、3本の指の触感覚(尺、聞、寸)に分けてキャッチし、この非線形的で主観的な情報を「脈診」と言い、生体内の気(サイ)の流れの状態を判断・解釈している。日本では、中世から江戸時代までは、四診(望、聞、問、切)を用いて診断や治療が行われてきた。例えば、切診とは医師の手を直接患者に触れて診察するもので、脈の状態から診断する脈診と、腹の状態から判断する腹診がある。本稿は、生体エネルギーを問題にしているので、脈診に限定して検討する。

明治時代になると、現代科学としての西洋医の手法が導入されて、様々に進歩して、現代医療の主流になっている。西洋医の特徴は、主として患部の修復と回復を問題にする点にあるが、手法は局所対症的であり、近代科学としての因果律や再現性を基礎においている。これに対して漢方医は、定性的・総括的ならびに感覚的、暗黙知の面が強く、生命エネルギーのバランスと気血の滞りの消去を治療目的にしている。つまり気血のバランスと滞りが病気の原因であると考えている。

脈診は、患者の両手首の3ヶ所ずつを中指、示指、薬指の3本の指で、1ヶ所の脈を3段階に分けて、左右の合計18種類の脈情報から病気の現状を診断するものである。両手の尺、聞、寸の3つの部分の脈位を陰陽、12経の変動、虚実等から判定する診断法であり、これにより、治療方法を決定し、経穴からの気(サイ)の補、しゃ(補給する、排除する)を行っている(例、Wikipedia等参照)。

複雑系科学のカオス解析法を漢方の脈診(診断法)に適用して、脈診結果の計数化と定量化を求める試みが鹿児島大学(医)の「重要課題解決型推進」研究で実施された(文献参照)。手首の代わりに、指尖部分の末梢血液の循環状況を対象にし、3本指の代わりに、発光ダイオードが発する近赤外線を人差し指の爪の部分(指尖部)にあて、指を貫通してくる光